

製品名: PLCB4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16252**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	129kDa

抗原情報

遺伝子名	PLCB4
別名	
遺伝子 ID	5332.0
SwissProt ID	Q15147
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

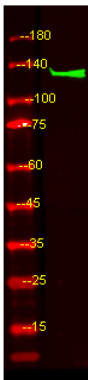
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸からイノシトール 1,4,5-トリスリン酸とジアシルグリセロールの生成を触媒します。この反応はカルシウムを補因子として利用し、網膜における多くの細胞外シグナルの

細胞内伝達において重要な役割を果たします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2010年2月]、代替産物: 追加のアイソフォームが存在すると思われる、触媒活性: 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール4,5-ビスリン酸 + H⁺ (2) O = 1D-ミオイノシトール1,4,5-トリスリン酸 + ジアシルグリセロール、補因子: カルシウム、機能: セカンドメッセンジャー分子であるジアシルグリセロール (DAG) とイノシトール1,4,5-トリスリン酸 (IP3) の生成は、活性化ホスファチジルイノシトール特異的ホスホリパーゼ C 酵素によって媒介される。この形態は網膜シグナル伝達において役割を果たします。、類似性:C2 ドメインを 1 つ含みます。、類似性:PI-PLC X ボックスドメインを 1 つ含みます。、類似性:PI-PLC Y ボックスドメインを 1 つ含みます。、組織特異性:網膜で優先的に発現します。、

研究分野

イノシトールリン酸代謝、カルシウム、ケモカイン、ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系、血管平滑筋収縮、WNT、WNT-T 細胞、ギャップ結合、長期増強、長期うつ病、GnRH、メラニン生成、アルツハイマー病、ハンチントン病。

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。